

CAMPUS 八戸学院

vol.53

美保野開拓から50年

女子アスリート特集



コンディショニングで
怪我や故障のリスク軽減

光星祭

～ 夢を刻もう
新時代～

理事長散策

「台風19号」



美保野開拓から

50年

明年、八戸学院大学は開学40年、
八戸学院大学短期大学部は開学50年を迎えます。
開学当時、職員の手で一本一本植えられた短大前の桜の木は大木となり、
正門からの櫟並木は、春夏秋冬の彩りを演じ、
景観を楽しませてくれています。

初代理事長 中村由太郎 先生の思い描いた「立体的総合学園構想」は、
4つの柱をかけた「新立体的総合学園構想」として脈々と受け継がれています。

《4つの柱》

- 1 教育の質（力）の向上
- 2 学院の特色強化とグループ連携
- 3 地域連携による経営基盤強化と共生
- 4 新時代の国際教育の研究と実践

CONTENTS

- 3 美保野開拓から 50 年
- 4 人生の主人公
八戸学院大学 人間健康学科 3 年 宮澤日向子
- 5 本当の幸せとは
八戸学院大学 看護学科 3 年 嶋田紗理奈
- 6 「ついやってしまう」体験のつくりかた
八戸学院大学 特任教授 玉樹真一郎
- 8 PLAYBACK 甲子園
- 9 コンディショニングで怪我や故障のリスク軽減
- 10 女子アスリート特集
- 12 八戸学院 TOPICS
- 14 ステラが行く／ステラ・フォーカス
- 16 法人チャリティーゴルフコンペ開催
- 17 同窓生の広場
- 18 理事長散策

キャンパスにニューフェイス！



朝、昼、夕、赤色灯をクルクル回して若草色の軽自動車がキャンパス内を走行しています。
今年度美保野キャンパスにお目見えしたパトロールカーです。車体の横には「PATROL」と表示されていて、不審者はいないか、危険な箇所はないかなど、巡回することでキャンパス内の安全、安心に一役買っています。

CAMPUS
八戸学院

vol.53



表紙

10月19日、20日に開催された光星祭は、今年で50回目を迎えました。19日に行われた吹奏楽部のコンサートでは、息の合った演奏を披露。また、マーチングバンド形式での演奏や光星高校硬式野球部とのコラボ企画、姉妹校のエドグレン高校との合同演奏などバラエティに富んだ内容で観客を魅しました。

建学の精神

「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道德教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。（寄附行為 第3条）

- 八戸学院大学
TEL 0178-25-2711
- 八戸学院大学短期大学部
TEL 0178-25-4411
- 八戸学院地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院図書館
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科
TEL 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院聖アンナ幼稚園
TEL 0178-45-3670
- 八戸学院第二しのめ幼稚園
TEL 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

ビブリオバトルチャンプ本獲得

人生の主人公

八戸学院大学 人間健康学科3年

宮澤 日向子



う。常に、失敗することを極度に恐れている。

本の登場人物たちは違う。ぶつかり、悩み、試行錯誤しながら進んでいく。私はいつも本を読みながら、私が行けない世界を時には立ち止まりながらも懸命に切り開いて生きていく彼らがまぶしかった。私も同じように歩けるのではないかと、彼らの姿を自分に映していた。でもそれは本を読むと終わってしまった。「私にはできないから」と、本の世界でしか冒険しなかった。本の中で生きるほかの誰かになって、私は責任を負わなくて良いように。

ビブリオバトルは、とても緊張した。練習していた時の理想とはかけ離れていた。話したい内容は飛ぶし、本を持つ手は震えた。何回も囁んだ。だから、結果発表で自分の名前が呼ばれたときは、驚いた。頑張ったことが報われて、これってなんだか物語の主人公みたい、と思った。



ビブリオバトルの様子

私も私の人生の主人公である。私にしか歩けない世界を歩いている。だから、ほかの物語の主人公みたいにならずとも良いし、戸惑っても良いし、失敗しても良い。一番大事なのは、前に進む挑戦をしなければならないということだ。

読書は冒険だと思う。ページをめくると私は誰にだってなれるし、どんな世界にだって行ける。だから私は本が好きだ。

も苦手だった。不安のほうが大きい気持ちで、出場することを決めた。思えばずっと、私は安全な道しか歩いてきていなかったと思う。できそうなことはやる、できなさそうなことからは逃げる。例えば、座学は得意で試験対策は念入りに取り組むが、人前に出たり身体を動かして人と接したりすることが苦手で、グループ活動やフィールドワークなど率先した行動が求められる場面では隅に行ってしま

カンボジアを訪ねて

本当の幸せとは

八戸学院大学 看護学科3年

嶋田 紗理奈



左から3人目 嶋田さん、4人目 NPO 法人 国際地雷処理・地域復興支援の会 理事長 高山良二さん

こんにちは。嶋田紗理奈です。

私がカンボジアを訪問するきっかけとなったのは、学科長がカンボジアの講義をしてくださった後に廊下でクラスメートがカンボジア訪問についてお話をしているところに「行きたいです!」となぜか突然言葉に出て、話の中に飛び込んだことです。その時は、カンボジアがどこにあつてどんな場所なのか全く知りませんでした。が、急遽訪問を決定しました。

タサエン村では、日本では見られないような生活を送っていました。服が汚れ破れている、靴を履かずにいる子供たち、地雷で足を失ってしまった村人。みなさんはどんなイメージを持ちますか? そんな村人たちはみんな笑顔なのです。そこで私が思ったのは、「お金があるから幸せなのか、お金がなくても幸せなのか。」村人の笑顔を見て初めて感じた事です。そしてこの生活の中で「本当の幸せは、他人の喜びを自分の喜びと感じた時に感じるものなのだ」と知りました。また、「一

人の人間の存在でたくさんの変化があり、良いことや悪いことの影響はあるが、色々な失敗をするからこそ良い影響を生み出すことができる」と高山先生から教わりました。それは全てタサエンの村人、そして高山先生から学び得たことです。自分の人生の時間は限られています。経験はお金では買えません。行動し経験したことは自分の財産となります。

カンボジア訪問では日本にはない想像もできないようなことが現地に様々あり刺激的でした。以前は、海外で働きたいと漠然と思っていましたが、今回のカンボジア訪問をきっかけに、このような国で国際的に活動したいと思っています。



現地の子ども達と

「ついやってしまう」体験のつくりかた



八戸学院大学
特任教授 玉樹 真一郎

1977年生まれ。東京工業大学・北陸先端科学技術大学院大学卒。プログラマーとして任天堂に就職後、プランナーに転身。全世界で1億台を売り上げた「Wii」の企画担当として、最も初期のコンセプトワークから、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワークサービスの企画・開発すべてに横断的に関わり「Wiiのエバンジェリスト(伝道師)」「Wiiのプレゼンを最も数多くした男」と呼ばれる。2010年任天堂を退社。青森県八戸市にUターンして独立・起業、「わかる事務所」を設立。全国の起業や自治体などで、コンセプト立案、効果的なプレゼン手法、デザイン等をテーマとしたセミナー、講演、ワークショップ、プレゼン等を年60回以上おこなうほか、コンサルティング、ウェブサービスやアプリケーションの開発等を行いながら、人材育成・地域活性化にも取り組む。2011年5月より特定非営利活動法人プラットフォームあおもりフェロー。2014年4月より八戸学院大学・地域経営学部特任教授。2017年4月より三沢市まちづくりアドバイザー。著書に『コンセプトのつくりかた』『「ついやってしまう」体験のつくりかた』（ともにダイヤモンド社）がある。

たとえば、何の変哲もない、ごくごく普通で面白くも何ともない小石がひとつあるとします。この石ころを「どうにかして面白くしてください」と言われたら、どうしますか？しかも、この問題にはひとつ条件があります。石そのものには、何ひとつ手を加えてはいけません。困りますよね。私の回答はこうです。

《回答例1》長くまっすぐな歩道の真ん中に置く。通りがかった人は、それがごく普通の石でしかないとしても、つい蹴りたくなってしまおうでしょう。《回答例2》おまんじゅうが流れてくる工場のベルトコンベアの上に置く。おまんじゅう、おまんじゅう、おまんじゅう、石、おまんじゅう。石？予想外の出来事に、きつと驚きや笑いが生まれることでしょう。

《回答例3》監禁されている人のポケットに忍ばせる。なぜ石があるの

か？その石を使って逃げられないか？ただの石ころを前にして、その人は真剣に脱出方法を考え、もし誰か仲間がいたらつい相談してしまうことでしょう。

いかがでしょう。確かに石を「どうにかして面白くする」ことに成功していますよね。ここで重要なのは、大切なのは石そのものではないということです。人間と石ころが触れ合う状況や文脈こそが大切なんですね。また「面白くする」ためには、結果的に誰かの心が動くことが絶対的な条件です。回答例1は「この石、蹴るのにちょうどよさそうだな、蹴りたいかもな」という感情を生み出すことで、結果的に「ついやってしまう」体験を生み出しています。回答例2は人間が無意識に行っている未来予想を覆すことで驚きや笑いを生み、ひいては「つい夢中になっってしまう」体験を生み出しています。

回答例3は、「監禁されている」という状況と石を脳が無意識に組み合わせ「石で監禁状態を打破する」ことについて想像させ、結果的に「つい誰かに言いたくなる」体験を生み出しています。

2019年8月に上梓した『ついやってしまう』体験のつくりかた 人を動かす「直感・驚き・物語」のしくみ（ダイヤモンド社）はそんな「つい」を生み出す体験をデザインする方法について議論しています。事例として採り上げるのは、スーパーマリオブラザーズ（1985、任天堂）やドラゴンクエスト（1986、エニックス）といった国民的ゲーム。なぜゲームは「つい」を生み出すことができるのか、ゲームのデザインを分析しながら解き明かしていきます。そして、議論の結果得られた「つい」の作り方を「体験デザイン」として定義し、直感のデザ

イン・驚きのデザイン・物語のデザインの3つに落とし込みました。さらに、これら3つの体験デザインをビジネスの現場や日々の暮らしに応用するところまでを論じています。

この本の大きな特徴は、本の中に表現されている体験デザインの手法が、本を作る過程そのものに応用されているという点です。つまり、この本は「つい読んでしまう」「つい夢中に読んでしまう」「つい読んだ内容を誰かに言いたくなってしまおう」…そんな体験を読者に提供しようとしています。著者として、とんでもなく高いハードルを自らに課してしまったことを後悔したこともありましたが、そんな本が書けないようであれば根本的に本の内容が誤っているのだから、書かねばならぬと自らに言い聞かせながら、4年程度をかけて執筆に取り組みしました。

一時は頓挫しましたが、結果的に執筆を助けてくれたのは、出版社の編集者さんと、本のデザイナーさんでした。この本にまとめられている体験デザインという考え方をご理解くださり、著者にすら思いつかない体験デザインの応用方法をどんどん本に加えてくださった結果、「つい」が実現できている本になったのではないかと考えています。間違いなく、私一人ではできない仕事でした。発売後にTwitter等のSNSで口コミが広がり、Amazonにおいて本・電子書籍同時一位という結果を残すこともできた

のは、間違いなく編集者さんとデザイナーさんのおかげです。

このご恩を、日々のお仕事や社会活動で返していければと考えています。が、何より還元したいのは、学生の皆さんにです。

本の内容は、地域経営学部での講義「デザイン」において学生といっしょに検討した内容であり、またその他の講義で学生に体感してもらい、感想を聞かせてもらい、その結果得られたヒントを元に検討をすすめました。つまり、この本に書いてあることは、大学の学生たちが教えてくれたことでもあるのです。

だからこそ、本の内容を踏まえ「つい学びたくなってしまおう」「つい夢中で聴いてしまおう」「つい学びの成果を誰かに言いたくなってしまおう」講義を提供できるよう、現場で奮闘を続けたと考えています。実際、本の発売後、インターネット上には様々な感想が公開されていますが、特に強い反応を見せてくださっているのが、教育関係のお仕事をされている読者のみなさんです。学校教育において、おおよそ教育の自身が間違っていることはありません。学問体系として確立され、内容も誤りは何ひとつ混じっていない「正しいこと」だけが語られています。しかし、教育内容がどれだけ正しいものであったとしても、学生が講義を楽しく聴いてくれるかどうかは、まったくの別問題です。もちろん、教育におい

て「正しいこと」は絶対的に必要なことではあります。しかし、「正しい」という性質自体は、まったく面白さには寄与しないのです。だからこそ教員は、教育内容の正しさに頼ることなく、学生がつい聴いてしまおう、学びたくなってしまおう講義を提供できるかが問われているはず。ビジネスの現場でも同じことが言えます。高品質で低価格なものを作れば売れるという時代が長く続いてしまった結果、ビジネスの現場から「人の心を動かす」という観点が抜けています。その結果、他のプレイヤー（特に海外）に容易に品質や価格で抜かれ、数々の産業が苦しんでいます。そもそも今の世の中、高品質・低価格だけの商品はもはや売れなくなってきました。ついその商品やサービスを触ってしまうもの、誰にでも使ってしまうもの、所有していると気分がいいもの…心を動かす体験をもたらす商品やサービスこそが求められています。

どういったら人の心を動かせるのか。その視点は、何もゲームに限ったことではありません。教育にも、ビジネスにも、はたまたプライベートな暮らしであっても、どんな場面にも求められる視点であると考えます。残念ながら、今の世の中は「心を動かす」ことを中心に設計されてはいません。もしそんな現状を変えることができれば、社会は、教育は、あなたの人生の生き心地は、どんな風にな変わっていくことでしょう！

そんな願いをこめて、この本を上梓しました。もしよろしければ、手にとっていただければ幸いです。

最後になりますが、もう一問、練習問題を出したいと思います。青森県八戸市に、ひとつの大学があります。名前は、八戸学院大学といいます。その大学を「どうにかして面白くしてください」と言われたら、どうしますか？



コンディショニングで怪我や故障のリスク軽減

硬式野球部では、怪我や故障しないためのコンディショニングや怪我から復帰に向けたリハビリの指導を定期的にお願ひしています。

選手が怪我や故障しないためのコンディショニングの指導と、怪我している選手を医学的な立場から復帰に向けたリハビリを行っています。

コンディショニングとは、身体の調子が整うことを目的とした運動です。春にメディカルチェックでは、身体機能測定やエコー検査などから怪我や故障の発生するリスクをリストアップし、選手に自分の身体の状態やコンディショニングの方法などをアドバイスすることで自分の身体に対する意識付けを促します。意識付けができるとう自分の身体の微妙な違和感や不調にも気が付くようになり、早めの対処で大きな怪我や故障に繋がるリスクを軽減できます。

怪我をしてしまった場合、復帰する大会前の状態に戻すだけではなく、以前より強く、



医療法人 なかざわ整形外科
リハビリテーション部
理学療法士 堀切 悟史

澤波大和（3年）
神宮大会直前に右足半月版を負傷し、選抜甲子園出場を目標に堀切さんにリハビリメニューを組んでもらいました。段階的に細かく目標を決めていただいたので回復具合を実感できました。今でも、不調の時には、教えていただいたトレーニング方法を行っています。



多くの選手達が相談に訪れます

さらに患部以外の身体機能も強化した状態で復帰できるようにリハビリメニューを組んでいます。

後藤丈海（3年）
肘を負傷した際に、手術をせず、患部周囲の筋肉を鍛えるリハビリメニューを組んでもらいました。また、堀切さんから股関節の硬さを指摘され、意識して投げるようになって投球が変化しました。

日常生活におけるセルフコンディショニング

ウォーキングやストレッチなど自分の身体と向き合う時間を作りましょう。自分の身体に意識を向ける生活習慣を作ることで、日々の体調の変化に気がつくようになり、次の対処をいち早くとることができるようになります。



八戸学院光星高等学校硬式野球部

PLAYBACK 甲子園

○数字：背番号

1 回戦

9 - 0 誉（愛知）

新旧エース完封リレー

⑯後藤丈海【5回1安打無失点の好投】
初回から持ち味の打撃力を発揮し、4点の援護を受け、自然と緊張もほぐれマウンドに立つことができました。自分の持ち味でもある制球力や粘り強さを発揮でき、山田に託すことができました。

①山田怜卓【零封リレーで好発進】
先発の後藤が完璧なピッチングで自分に繋いでくれました。野手も下山の本塁打をはじめ大量得点を取ってくれて、終始余裕を持って投げることができました。



2 回戦

10 - 8 智弁学園（奈良）

打の光星激闘を制す

⑱澤波大和【決勝の2点内野安打】
8回2アウトランナー1・2塁で近藤を敬遠して自分で勝負してきたことがとても悔しくて、初球を絶対に打つと決めて打席に入りました。数々の怪我を乗り越えて、勝ち越しタイムリー安打を打つことができ、みなさんに感謝しています。

⑥武岡龍世【甲子園第1号本塁打】
前の回のエラーを取り返そうと打席に立ちました。ストレートを狙っていたところに甘いコースにストレートが来たので思い通りの力強いバッティングができました。結果、本塁打という最高の形でチームの勝利に貢献することができました。



3 回戦

7 - 6 海星（長崎）

劇的サヨナラで8強へ

⑤下山昂大【中前打で劇的サヨナラ勝ち】
初回からビハインドで自分達の野球ができませんでした。延長戦に入り、チームメイトと「満塁で打席が周ってくるんじゃないか」という話をしていました。まさか、本当になるとは思っていませんでしたが、昨年亡くなった同級生のためにという一心で打席に立ち、バットを振りました。



写真提供：デーリー東北新聞社
尾崎芽実さん（光星3年）

準々決勝

6 - 7 明石商業（兵庫）

明石商に競り負け

⑦大江拓輝【3打点の活躍】
粘り強く投げているピッチャーを助けたいという思いから気持ちだけでボールに食らいつきました。クリーンアップの役目を果たすことができ、チームに貢献できたことを誇らしく思います。

③近藤遼一【全打席出塁】
フェンス直撃のツーベースではなく、フェンスオーバーの本塁打なら試合の展開が変わっていたかも・・・悔しい打席となりました。しかし、小学生から憧れていた甲子園でホームランを2本も打って、忘れられない試合となりました。





女子サッカー部

第38回東北女子サッカー選手権大会兼第41回皇后杯
JFA全日本女子サッカー選手権大会東北大会 出場

- ① サッカーは誰でも簡単に始められるスポーツです。男子はパワーを活かしたスピーディーで迫力のあるサッカーですが、女子には「止める、蹴る、運ぶ」といった基本技術を活かして細かいパスをつなぎ、相手を崩しゴールを奪うという魅力があります。
- ② 八戸学院大学女子サッカー部創部当初からの目標は“全国で勝利”することです。インカレには四年連続出場していますが、まだ勝つことが出来ていません。大学までサッカーを続けてこれた環境や、監督、コーチ、家族、仲間へ感謝し“勝利”という形で恩返しをしたいと思えます。ピッチでプレーする11人、ベンチのサブメンバー、監督、コーチ、みんなが“同じ絵を描いてひとつの絵を完成させる”。これを心に刻んでチーム全員で勝利を目指していきます。

陸上競技部

東北学生陸上選手権女子400m障害 優勝(白川 奈々恵)

- ① 陸上競技は、日頃の努力が結果と結びつきやすく、自分の成長が目に見えます。普段の努力が結果につながっていることを直に感じ、厳しい練習を経て自己ベストを更新できた時の嬉しさや競技の楽しさは格別です。そして、その楽しさや嬉しさは更なる自己ベスト更新を目指すための原動力になります。また、観る側としての陸上競技は、走る・跳ぶ・投げるによるシンプルな動作で競い合うため、勝敗が分かりやすく面白さを感じることができます。陸上競技の魅力は、行う側と観る側の両者が楽しめるスポーツであることです。
- ② 全日本インカレ出場、全員の自己記録更新。



スピードスケート部 大岩末奈美さん(人間健康学科2年)の1日

7:30 朝練

バランス良く筋力がつくように曜日によって練習メニューを変えています。この日の練習は、タバタ式トレーニング。持久力がつき競技後半の粘りに繋がるそうです。



10:00 講義

体育教員とスポーツトレーナーを目指し勉強中です。



17:30 練習(氷上・陸上)

氷上練習だけだと筋力が落ちてしまうため、氷上と陸トレの両立が必要不可欠。大岩さんの目標は、全日本スプリント選手権とユニバシアード大会出場。



12:00 昼食

学食でランチ。カバンには、バナナ(エネルギー補給)、ほんだし(疲労回復)、ゆで卵(筋力をつける)を持ち歩き摂取しているそう。意識高し！



八戸学院大学

女子アスリート特集

令和元年、八戸学院大学では女子アスリートの活躍が目立ちます。今回は、女子アスリートにスポットを当てました。

①各競技の魅力 ②各部の目標

スピードスケート部

全日本距離別選手権 女子マススタート2位(澤尻 磨里英)

- ① スピードスケートは、個人競技なので、一人一人体重管理を行ったり、栄養面に気を付けていたり、ストイックな選手が多いです。また、空気抵抗を減らすため、姿勢を低くし滑ります。1000分の1秒を争う競技なので、靴やブレイド、ユニフォームの素材など日々研究されており、進化しています。平昌オリンピックで大活躍した唯一の団体競技の3人で行われるバシュートも、とても魅力的です。
- ② 八戸学院大学スピードスケート部としての最終目標は、インカレ総合優勝です。一人一人自己ベストを更新できるよう、チーム一丸となり切磋琢磨し頑張ります。



女子ラグビー部

北海道・東北の大学で初の女子ラグビー部

- ① 女子ラグビーは、男子とは違い主に7人制で行うのですが、15人制と同じグラウンド幅で行うので、15人制に比べてスピード感のあるラグビーを見ることができると思います。また、男子に負けないハードなコンタクトプレーやタックルも魅力の一つです。体が大きい人、小さい人、足が速い人、遅い人どんな人でも輝けるスポーツです。大学生になってからラグビーを始めた人も私達女子ラグビー部には3名いるので、何か新しいことに挑戦したいという気持ちのある人におすすめです。
- ② 私達女子ラグビー部は日本最高峰の大会である、「太陽生命カップ」への出場を目指して日々練習を行っています。また、部活だけではなく、勉強はもちろん、挨拶や日々の規則正しい生活も全員がしっかりと行うようにしています。北海道・東北の大学で初の女子ラグビー部として青森県や東北地区のラグビー界を盛り上げられるように頑張っていきたいと思えます。



女子バスケットボール部

第86回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会 出場

- ① バスケットボールは、ハビッツスポーツとも言われ、普段の生活や練習などが試合につながる競技です。攻撃にかかる時間が短くスピーディーな展開を見られるところがバスケットボールの魅力的なところ。また、点を取り合うスポーツでもあるので攻守の切り替えが多く、緊張感もあり常に見る側にも楽しめるスポーツです。
- ② 1部昇格できるように日常生活から意識を高めて練習に励んでいます！



光星高 2019世界カデットレスリング選手権大会(U-17)出場世界大会出場
3年工業技術科 川市 竜之介



後列中央 川市選手

8月1日～4日、ブルガリア・ソフィアで2019世界カデットレスリング選手権大会(U-17)が開催され、日本代表として出場しました。結果は2回戦敗退でしたが、世界の大舞台で自分の持ち味である技とスタミナで一勝を挙げることができたことは自信に繋がりました。

また、試合を通じて外国人選手の紳士的な行動が印象的でした。勝ち負けの前に、人間的な成長が必要だということを改めて学びました。応援ありがとうございました。

光星高 光星高校保育福祉科 中学校で出前講座

保育福祉科の魅力を発信することを目的に現在まで2校の中学校で出前講座を実施しました。いずれも、本校の生徒が講師となって、約90分間、福祉や介護に関する講義や実技を行いました。導入のクイズ大会から始まり、パワーポイントで介護の魅力を説明、片麻痺の高齢者体験とゲーム、また、演劇部の生徒による認知症をテーマにした劇のDVD鑑賞など、盛りだくさんの内容で、アンケートの結果からも介護について興味を持ってもらえたと思われました。今後も、保育や介護のエキスパートを目指す担い手として、地域活性化にも貢献していきたいと思ひます。



野西高 ミランダ先生、野辺地西高校へ

8月5日(月)、本校のALTとして「ミランダ サラージェイン ハルンショ」先生が着任しました。愛称は「CJ」になります。CJ先生はフィリピンのマニラ出身です。お世話になります。日本には何度か来日したことがあるそうですが、青森に来たのは初めてだそうです。



Hello! My name is CJ and I'm your new ALT from the Philippines. I love Japanese food, especially edamame and natto! Teach me Japanese and I will teach you English! よろしく!

大 学 キャリアデザインⅣ×NHK大学セミナー [9/9]

地域経営学科・人間健康学科2年生対象の講義「キャリアデザインⅣ」において、元・国際連合世界食糧計画(WFP)アジア局長の忍足謙朗(おしだりけんろう)氏をお迎えし「国連WFPでの仕事、国際組織でのリーダーシップ」と題してご講演いただきました。忍足氏からは、国際組織での豊富な経験とともに、食糧支援現場でのエピソードをはじめ、チームづくりやリーダーシップの大切さなど、貴重なお話をいただきました。これから社会で活躍する学生にとって、とても参考になるお話が聞けたのではないのでしょうか。



大 学 健康医療学部看護学科 4年次科目「救急看護」

1年間の専門実習を終えた、健康医療学部看護学科一期生である4年生対象の講義が秋学期より開始されました。そのうちの『救急看護』では、八戸市立市民病院院長の今明秀先生に8コマの講義を担当いただきました。今先生は、ドクターヘリ、ドクターカーに続き、日本初の移動緊急手術室を実現し、今も現役ヘリドクターとして患者さんの元へ駆けつける、日本で唯一の“空飛ぶ院長”です。日々の救命現場での体験談を交えながら、看護師国家試験対策のためのアドバイスまでお話しいただき、学生にとって非常に貴重な時間になりました。



大 学 **短 大** 八戸小唄流し踊りに留学生が参加

八戸市中心街で毎年開催されている八戸七夕まつりに八戸学院大学健康医療学部人間健康学科・看護学科、短期大学部幼児保育学科・介護福祉学科と教職員約180名が参加し、八戸小唄流し踊りを披露しました。今年は新たに看護学科3年生と人間健康学科・介護福祉学科に今年度入学した中国、フィリピンからの留学生6名も参加し、七夕祭りに花を添えました。また七夕まつり期間中は短大生が制作した七夕飾りも展示されました。



専攻科 令和元年度 障害者サポーター養成講座が終了 [8/23]

介護福祉科2年生を対象に「障害者サポーター養成講座」を開催しました。公益財団法人こころすこやか財団から森様を講師に迎えました。講座に参加した学生は、誰もが地域で安心して暮らせるよう障害者サポーター制度が必要であることを理解しました。そして、効果的な支援には相手の話に耳を傾け、障害のある人の理解を深め相手の価値観を尊重することを学びました。ご指導くださった財団の皆様にも深く感謝申し上げます。



八戸学院聖アンナ幼稚園

夏の季節祭～ひまわり畑をお散歩しよう～

長かった夏休みが明け、山の楽校のひまわり畑へお散歩に行ってきました。満開のひまわりに子どもたちは、「おっきいね!」「きれ～い」と感動しながら、のんびりとお散歩を楽しみます。途中で大きなバッタも発見!あまりの大きさに少し怖そうにしている子もいましたが、見つめる顔は好奇心で輝いています。すぐ隣には、そばの花畑もあり白いお花がとっても綺麗で、普段の生活ではなかなか味わえない豊かな自然を体と心で十分に感じながら満喫しました。聖アンナ幼稚園では、四季に合わせて季節祭を行っています。春は

みんなでお花見に、秋は美保野キャンパスで縁日や作品展示、冬には種差少年自然の家でスノーチューブやそり遊びなど、四季折々の自然にたくさん触れながら、その度に新しい発見や感動を見つけていく子どもたちの姿に、これからの成長が楽しみです。



ステラ・フォーカス



八戸学院3幼稚園
マスコットキャラ

ステラが行く

vol.5

八戸学院幼稚園

「連携教育活動の紹介」(研修・行事の取り組みより)
子どもたちが安心・安全な園生活を送れるように

★東北造形教育研究大会青森大会の

公開保育より

《法人内上級学校、地域、保育教諭の連携》
本園の特色である法人内上級学校との連携教育の一つに、八戸学院大学短期大学部の佐貫巧先生、池田拓馬先生による造形教室があります。普段使ったことのない素材や身近にあるものなどを使い、繊細に、またはダイナミックに制作し、感覚を刺激しています。

今年7月31日に行われた第64回東北造形教育研究大会青森大会では、八戸市内外、県外合わせて約100名の方々が参加され、佐貫巧先生、池田拓馬先生と連携して公開保育を行いました。佐貫先生のゼミナールで実施されている「八戸マテリアル・アプローチ」は、八戸圏域の隠れた資源を探し出し、子どもの創作活動の材料と



して活用するというもので、今回の公開保育でも八戸圏域の様々な企業から貰い受けた廃材となった資源を活用して、創造力を引き出す教育活動が行われました。「街づくり」をテーマに制作した中には、段ボールと大きな筒を組み合わせた「温泉」や、床いっぱいに広げたシートに長い線路を描き、自分たちが作った新幹線を走らせるなど思い思いの発想で表現活動を楽しみ、子どもたちの「できた」「楽しい」「もっとやりたい」という意欲に繋がっています。また、今回の公開保育の資料作りを通して、園内研修が充実し、保育教諭間の共通理解がより一層深まりました。これからも人や物との出会いや、様々な経験ができるよう連携教育活動を充実させていきたいと思っています。

★運動会より《家族のつながり》

今年度は、「行事の見直し」を行っていただきます。そこで、運動会を保育クラス(1・2歳クラス)はゆったりと親子一緒にを行い、教育クラス(年少以上クラス)は成長を発表する場として二つに分けて行いました。保育クラスの「ちびっこくんどうかい」は、普段は仕事で忙しいご家族の方と一緒に、楽しく走ったり踊ったりと笑顔いっぱいのおつという間の時間でした。教育クラスは、毎年親子で入場行進する年少児も子どもたちだけで行進できたり、腕を振って足を上げて元気いっぱいに走ったりなど逞しさが感じられました。また、小学生、保護者、祖父母とそれぞれの競技だったものを、今年は「ファミリー競技」として、三世代が同じチームとなって、「綱引き」や「台風の目」というリレーを力を合わせて楽しみました。

共働き家庭や核家族が増えてきている中で、家族との楽しい時間をもつことは子どもたちの安心安定に不可欠です。今後も園活動でできることを提供していきたいと思っています。

八戸学院幼稚園

「待ち遠しかったブドウの収穫」

毎年園庭のブドウ棚にはたくさんのブドウが実ります。今年も甘い香りを漂わせ、収穫の時季を迎えると、「おっきくなってきたよ」「まだ食べられないの?」と気に掛けていた子どもたちは、早速ハサミで「パチン!」と収穫を楽しみました。また、たわわに実ったたくさんのブドウをPTAのお母さま方に収穫していただき、給食時にみんなでおいしく頂いたり、お迎えに来た方にも持ち帰っていただきました。日に日に育つブドウをずっと見てきた子どもたちは、そのおいしさをより一層強く感じられたことでしょう。来年も楽しみです!



八戸学院第二しののめ幼稚園

～お泊まり保育～

7月12日から13日に年長児のお泊り保育を行いました。今年は近くのスーパーへ行き、夕食と朝食の買い物に挑戦しました。園児達は、リストを見ながら食材を探し回り、初めてのお友だちとの買い物を楽しみました。

夕方、大きな荷物を背負った園児達が再び幼稚園に集まり、待ちに待ったお泊り保育が始まりました。まずは夕食作りでカレー、サラダ、ゼリー係に分かれて、食材を切ったり、混ぜたりしました。煮込んでいる間にお楽しみタイムをしたり、布団しきとシーツかけもみんなで協力して準備しました。夕食ができあがり、みんなで作ったご飯は「いつもより美味しいなあ」とモリモリ食べているとそれまで

降って雨が止み、晴れた夕空に虹がかかりました。園児達は大喜びで予定通り花火をし、特別な思い出ができました。寝る支度も自分達で行い、夜は全員がぐっすり眠ることができました。次の日の朝、散歩に行き朝食を食べて、お泊り保育での思い出を1人ずつ発表し、お家の人が迎えにくると、自信に満ちた表情と少しホッとした様子で降園していきました。園児達はお泊り保育を通して、お友だちと協力すること、身の回りのことは自分でやることなどを学ぶことができたと思います。11人で過ごしたこの2日間はとても貴重な経験となり、これからも様々なことに挑戦していけたらと思います。



星の子キッズクラブ開催

■親子登園ステラクラス(水・木コース登録制)
クリスマスパーティー
クリスマスの飾り付けをしよう
日時:令和元年11月14日(木)
場所:八戸学院幼稚園
会費:100円

■0・1歳チッチクラス(登録制)
寝相アートをしてみよう!
変身してあそぼう!
日時:令和元年11月20日(水)
会費:100円



法人チャリティーゴルフコンペ開催 [8/6]



令和元年8月6日(火)「第29回八戸学院親睦チャリティーゴルフコンペ」が天候にも恵まれ八戸カントリークラブで開催され、239名が参加しました。

また、夕方から行われた表彰式・懇親会では、県内外の企業や外郭団体(後援会・同窓会・父母の会)からの協賛豪華賞品が八戸プラザホテルアーバンホールの会場いっぱいに並びました。

大会長挨拶で法官新一理事長は「皆様のご支援、協賛をいただき29回目を迎えることができましたことに心より御礼申し上げます。来年は30回という節目の大会となります。工夫を凝らし、30周年記念大会を賑やかに開催できますよう努めてまいりますので、皆様には引き続きご支援の程お願い申し上げますとともにご健勝をお祈り申し上げます。」と大会の挨拶を述べました。



低速電動ウォーカー贈呈 [9/9]

医療法人平成会 八戸平和病院(介護老人保健施設ナーシングホーム・オリーブ)にてチャリティー収益より低速電動ウォーカーの贈呈式が行われ、代表して大会長(法官新一理事長)より医療法人平成会 八戸平和病院 伊藤文也 専務理事に贈られました。贈呈式で伊藤専務理事は「低速電動ウォーカーを寄贈いただき、大きな喜びを感じている。施設には100人の入居者がおり、入居者の健康増進に活用したい。」と述べられました。



〈美保野で喫茶店を〉

学生時代からコーヒーが好きで大学の近くにあった喫茶店に良く通っていました。県外までコーヒーを飲みに出かけることもありましたね。その内、喫茶店で飲むコーヒーを自宅でも飲みたくなって豆を買って試したり、豆を焼くために小さい焙煎機を購入したり、試行錯誤していくうちに、将来、大学のある美保野で喫茶店をオープンしたいと思うようになりました。

大学卒業後、実家の燃料店を営営していました。当初は、息子と燃料店を続けながら喫茶店をオープンする予定だったのですが、燃料店を閉め、それぞれ喫茶



COCODE COFFEE

店長 佐々木 猛雄 氏

八戸大学(現八戸学院大学) 商学部
昭和60年3月卒業

いく子 氏
(旧姓:竹高)

八戸短期大学(現八戸学院大学短期大学部)
幼児保育学科
昭和59年3月卒業

店をオープンすることになりました。建物は、学生時代喫茶店だった建物を自分で解体、柱だけ残し、そこから大工さんと話しながらリフォームしました。内装は妻のチョイスで、ゆったりとした空間をコンセプトに照明や内装細部にまでこだわっています。

お店で提供している料理・スイーツは、食材にこだわり、時間をかけて仕込みから行っています。リラックスして料理とコーヒーを楽しんでもらえると嬉しいですね。

〈究極のコーヒーを目指して〉

コーヒーは、香り・苦味・甘みのバラ



こだわりの詰まったコーヒーとケーキメニューにあるオムライスの仕込みには3時間かかるそうです。



美保野の丘
COCODE
COFFEE

八戸市美保野 13-777
TEL 0178-38-8942



店内はジャズが流れ、とても落ち着く空間でした



法 官 新 一
Shinichi Hogan

～台風 19 号～

今

年の台風19号の被害は甚大だった。

台風襲来の予想もいつになく入念で、マスコミは多くの時間を割いて情報を提供していた。しかし台風一過の被害の報道に接するたびに、悲惨な現状に心が痛む。平成の時代は地震や火山の噴火や水害の記憶が多くあるが、令和になっても天災は続く。しかも日本列島北から南まであらゆる場所で起こっている。科学が進歩し、災害の予知が昔に比べ格段に進歩しても、天災の被害は相変わらずである。

今回の台風では、関東北信越を中心に河川の氾濫が相次ぎ、日本列島の中心部が津波の被害にあったような様相だ。水没した家、濁流に押し流された家屋、橋が寸断し、車が散乱する光景。一夜明け、テレビの画面には水没した家屋から取り残された人を救助するヘリコプターの活動や、泥まみれになった家の中、瞬時に流失した家の跡地

に茫然自失の被災者の姿が痛ましい。

建物の被害は免れた超高層のタワー・マンションの、停電、断水というインフラの破壊は、飲料水を奪い電気の使用を止めた。復旧には一週間もかかるという。

60数年も前の昔のことだが、大火による家の焼失と津波や大風による被害の経験がある。しかし、子供の頃のこと、報道で騒がれるほどの辛さや、困窮感は記憶にない。長い期間よその家を転々とした生活や多くの人に世話になり、衣食住に不便を感じたと思うのだが、子供心に災害の痛みは大人と違うのかもしれない。また生活様式も今と違っていたので、不便の度合いが違うのかと思ったかもしれない。しかし、親の途方に暮れた姿や嘆きの記憶をたどると、大変な出来事だったのだと思う。家屋の復旧や生活を元に復すまでに相当な時間と金がかかったのだろう。

折しも今日本で、ラグビーのワールドカップが開催されている。日本の連勝が続いている時に台風19号が日本列島を襲い、一部のゲームは中止になったが、日本対スコットランド戦は、台風一過の日曜日午後七時から予定通り行われた。ゲーム開始早々相手の先制で、素人ながら日本チームの力もここまでと思った。しかし、すぐに右に走り、左に揺さぶり、相手のディフェンスの体に突撃前進である。ラグビーがわからなくても「ワシチーム」の威力は力強く前向きで魅力的であった。終わってみれば、全戦全勝。日本の力を世界に知らしめた大活躍であった。一人の選手がインタビューで、被災した日本の人たちが、今回のラグビーの試合を通して元気になってくれることを祈った。日本チームが一丸となって、何度も何度も立ち向かう姿は、人間が災害という逆行に立ち向かう姿と重なって、被災した人たちにも、感動と元気を送ることになったと思う。

(令和元年10月13日記)

理事長表敬訪問 夢の舞台で活躍を誓って



左から伊藤選手、法官理事長、武岡選手、仲井監督

プロ野球ドラフト会議でヤクルト6位指名を受けた武岡龍也 選手とソフトバンク育成3位指名を受けた伊藤大將 選手が仲井宗基監督と共にプロ指名の報告をしました。法官理事長より、「卒業生や八戸の方も応援しており、活躍して元気を与えてほしい。」とエールが送られました。

武岡龍也

指名されたのは、周りの方のおかげだと思います。これからプロという厳しい世界に入るわけですが、試合で活躍を見てもらえるよう、必死で頑張ります。

伊藤大將

今回の指名は、素晴らしい環境で3年間野球をすることができたおかげです。たくさん練習して、1軍で活躍して八戸に戻って来られるよう頑張ります。



HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT

八戸学院美保野キャンパス 栗の木と花壇



八戸学院大学短期大学部後援会には、これまで短期大学部の環境整備を中心に協力いただいております。この度、学生駐車場へ入る手前にある栗の木周辺に花壇を設置していただき、新たなキャンパススポットが誕生しました。花壇には、球根が植えられ、春先に花が咲くのが今から楽しみです。

昭和53年、旧光星高校弓道場の完成を記念して、当時、弓道部顧問だった法官理事長と部員によって植樹された栗の木は、今年もたくさんの実をつけました。花壇に咲き誇る花と共に、これからも多くの学生達を見守り続けます。

八戸学院大学短期大学部

